

こんにちは 地域おこし協力隊です ミニ!

問合せ/まちづくり推進課 コミュニティ係 (☎ 27-8237)

このコーナーでは各地域の課題解決や情報発信などまちづくりを支援する地域おこし協力隊員をご紹介します。

ほうじょう みつひろ
北条光洋さん

▼担当

安心院、深見

▼出身地

東京都



前職での食品業界の仕事を通じて地域の持つ魅力や可能性を強く感じていた折、地方創生や6次産業に携われる宇佐市の協力隊へ応募しました。

現在は、安心院の困り事支援事業やクリーン活動、深見のインターンシップ受け入れ、仙の岩での青空市場の開催から旅行会社との農村研修プログラムツアー作成など、多岐にわたる活動のお手伝いをさせてもらっています。地域の皆さんから学ぶことは多く、



安心院小の児童とクリーン活動

例えば草刈りひとつとってもまだまだ半人前の自分は、熟練の先輩方から安全で上手な草刈りの技を学んでいるところです。

地域活動を支えている方の多くは私よりご尊老であり、日々地域のために尽力されているお姿に感服し、勇気とパワーをもらっています。地域の抱えるさまざまな課題も実感しており、そんな人生の諸先輩方のお役に立てるよう励みたいと思います。



達人の技をまねて草刈り中

宇佐神宮初詣交通規制図

参拝については 18ページをご覧ください。

問合せ/宇佐神宮庁 (☎ 37-0001)

規制期間：令和3年12月31日(金) 23:00 ~ 令和4年1月4日(火) 17:00



- 一方通行
- ↺ 車両通行止め
- 駐車場進入路
- 駐車場までの推奨路線
- 🚫 指定方向外進行禁止
- 🚫 周辺道路は全て駐車禁止

※今回は、臨時シャトル便の運行はありません。国道10号は混み合いますので推奨路線をご利用ください。

平安時代の終盤に入ると武士が力をつけてきます。前九年の役で奥州を平定した源頼義は石清水八幡宮の御分霊を鎌倉の由比ヶ浜辺に勧請、鶴岡八幡宮の起こりとなります。その子源義家は石清水八幡宮で元服、八幡太郎義家と名乗ったことは有名です。

この家系から出た頼朝は、1180年、鶴岡八幡宮を現在地へ遷座します。司馬遼太郎氏は「街道をゆく」の中で《京都に對し、政權を示威する意味もあつたのではないか》としています。なお、石清水八幡宮は、宇佐神宮の御分霊を勧請したものであるため、鶴岡八幡宮も宇佐神宮から御分霊を勧請したのと同じです。

鶴岡八幡宮は鎌倉幕府の総鎮守、武門の守護神として篤い尊崇を受けます。関東の御家人た

ちは自国に勧請、戦場では「南無八幡大菩薩」と念じ勝利を祈りました。平家滅亡後、源氏方の武士たちが守護・地頭として地方に進出すると、八幡神を氏神として祀るようになり全国に広がりました。

因みに全国の神社の数は約8万社、その内約4万社が八幡社と最も多くなっています。奇しくも今年のNHK大河ドラマは「鎌倉殿の13人」。鶴岡八幡宮も登場します。市としては宇佐八幡宮（明治以降、宇佐神宮）が総本宮であることをしっかりPRしたいと思います。



鶴岡八幡宮（神奈川県）

平和ミュージアム（仮称）開館に向けて
kioku wo tsunagu

記憶をつなぐ

このコーナーでは「宇佐市平和ミュージアム（仮称）資料館」の開館に向け、これまで収集した資料や今に残る戦争遺構にまつわる「記憶」を紹介していきます。

43 写真週報

写真週報は、戦前期に内閣情報部により編集・刊行された週刊のグラフ雑誌です。昭和13年2月16日号から昭和20年7月11日号まで、370冊が刊行されました。政府の国策宣伝の一環として刊行され、親しみやすく感情を引き付けやすい写真を多用し、国策を国民に分かりやすく周知することに主眼が置かれていました。



■ 戦争関連資料を収集しています。提供していただける方は社会教育課 文化財係（☎ 27-8199）にご連絡ください。資料は平和の尊さを学ぶために活用いたします。

問合せ 社会教育課 平和ミュージアム建設準備室（☎ 27-8200）